

山口県のドングリ

(14) 豊田町、菊川町の神社林のドングリ

松富憲之*・阿部弘和

山口大学教育学部生物学研究室

Fagaceae in Yamaguchi Prefecture

(14) Fagaceae in the compound of shrine in Toyota-cho and Kikugawa-cho

Noriyuki MATSUDOMI and Hirokazu ABE

(Biological Institute, Faculty of Education, Yamaguchi University)

(Received October. 1, 2004)

Summary

The specie of Fagacea in the conpound of 24 shrines in Toyota-cho and 21 shrines in Kikugawa-cho was investigated.

Eleven species belonging to four genera, 7 broad-leaf evergreen species and 4 broad-leaf deciduous species, were identified: *Q.glauca* (in 36 shrines), *Q.acuta* (in 3), *Q.gilva* (in 4), *Q.salicina* (in 8), *Q.myrsinaefolia* (in 14), *Q.sessilifolia* (in 4), *Castanopsis cuspidata* (in 34), *Q.aliene* (in 1), *Q.acutissima* (in 2), *Q.serrata* (in 11), and *Castanea crenata* (in 9). The average number of species per a compound in Toyota-cho and Kikugawa-cho was 3.2 and 2.3, respectively.

In this area, *Q.glauca* and *C.cuspidata* are dominant and common species; *Q.glauca* was observed in 80% of 45 shrines. *C.cuspidate* was in 76% of 45 shrines. To addition this, *Q.gilva* is found in 9 % of 45 shrines in this area, although it has appeared in only 2% of 960 shrines which had been studied. These two also seem to be characteristic species in this area.

序 論

我々は山口県の自然植生を明らかにすることを目的に、各地の神社林においてドングリと呼ばれているコナラ属、マテバシイ属にシイ属とクリ属も合わせたブナ科の樹木の種類や生態等を研究してきた。そして、山口市・小郡町（花岡・阿部、1986）、阿武郡・萩市（阿部・森田 1989）、防府市・徳地町・鹿野町（阿部・郡司、1991）、宇部市・楠町・美東町（阿部・白井、

* 豊田町立豊田西中学校

1994)、秋芳町・三隅町・長門市(阿部・白井、1995)、由宇町・岩国市・和木町(西村・阿部、1996)、大島郡(阿部・岡原1997)、熊毛郡・柳井市・大島町(阿部・岡原、1998)、下松市・熊毛町・光市(阿部・原田、1999)、徳山市・新南陽市(阿部・原田、2000)、小野田市・山陽町・美祢市(阿部・小路、2001)、油谷町・日置町(阿部・松富、2002)、豊北町・豊浦町(松富・阿部、2003)の合計960の神社林で調査を行ってきた。

これらの一連の研究を通じて、960の神社であわせて4属17種のドングリを観察した。そして、17種のなかには、アラカシ、コナラ、ツブラジイのように山口県全域に広く分布し、普遍的にみられる種とアカガシやイチイガシのように希な種があることが明らかになった。さらに、シイのように普通に見られる種であっても、詳細に調べると出現頻度は地域ごとにより異なっていることもわかった。例えば、シイ属の2種のうち、スダジイの分布を山口県の日本海側でみると、東端から田万川町・須佐町・阿武町・萩市から三隅町では出現頻度が50%を超えるが、その西側の長門市では14%、日置町・油谷町では3%、豊北町・豊浦町では0%と減少していた。一方、ツブラジイのそれは田万川町・須佐町・阿武町・萩市ではわずか6%であるが、三隅町で30%、長門市で43%、日置町・油谷町で71%、豊北町・豊浦町で56%と増加していた。また、希な種であるアカガシやイチイガシも日置町・油谷町、豊北町・豊浦町、美祢市など県西部で高い出現頻度を示しており、この2種も地域によって分布が異なっていることが分かった。このようにドングリの種類と出現頻度には山口県という狭い範囲でも差があり、自然環境のよい指標となりえることが明らかになってきた。

この研究では、ツブラジイやアラカシが普通に見られ、アカガシやイチイガシが比較的多かった日置町、油谷町、豊北町、豊浦町、美祢市に囲まれた、豊田町・菊川町にある合計45の神社で調査を行った。

調査の方法

調査は国土地理院の2万5千分の1の地図をもとに、実際にあった豊田町の24の神社と菊川町の21の神社の、合わせて45の神社で実施した。これら45の神社の位置は図1に、また、神社名と所在地は表3に示してある。神社では社殿などの建造物を囲む境内の林とそれに隣接する林をできるだけ広い範囲で調査し、生えているドングリの種類と位置を調べた。さらに、大きな個体については胸高直径と樹高を測定した。ドングリの分類は阿部(1985)、原・阿部(1985)、岩田(1965)、北村・村田(1979)、および、矢頭・岩田(1966)に従い、いくつかの神社では社寺林調査研究委員会(1985)の資料を参考にした。調査は2001年6月から2002年7月に実施した。

結 果

神社と神社林の景観

今回調査した豊田町と菊川町は山口県の西部の豊浦郡の内陸部に位置し、山々に囲まれ中央部は盆地となっている。また、東側に人造湖の豊田湖があり、南西側に白滝山(668m)、鬼ヶ城山(619m)、県立自然公園に指定されている狗留孫山(616m)と華山(713m)など600mを越える山が連なっている。この地域は全体として農耕地や林業地として利用されており、住宅地も散在しており、菊川町は下関市のベッドタウン化がすすんでいる。この地域で調べた45の神社のうち、16の神社は平地または丘陵地に、残りの29の神社が山間部に建立されていた。

山間部の林業地にあるためか、豊田町の熊野神社、河内社(稲見)、河内社(下台、図2A)、

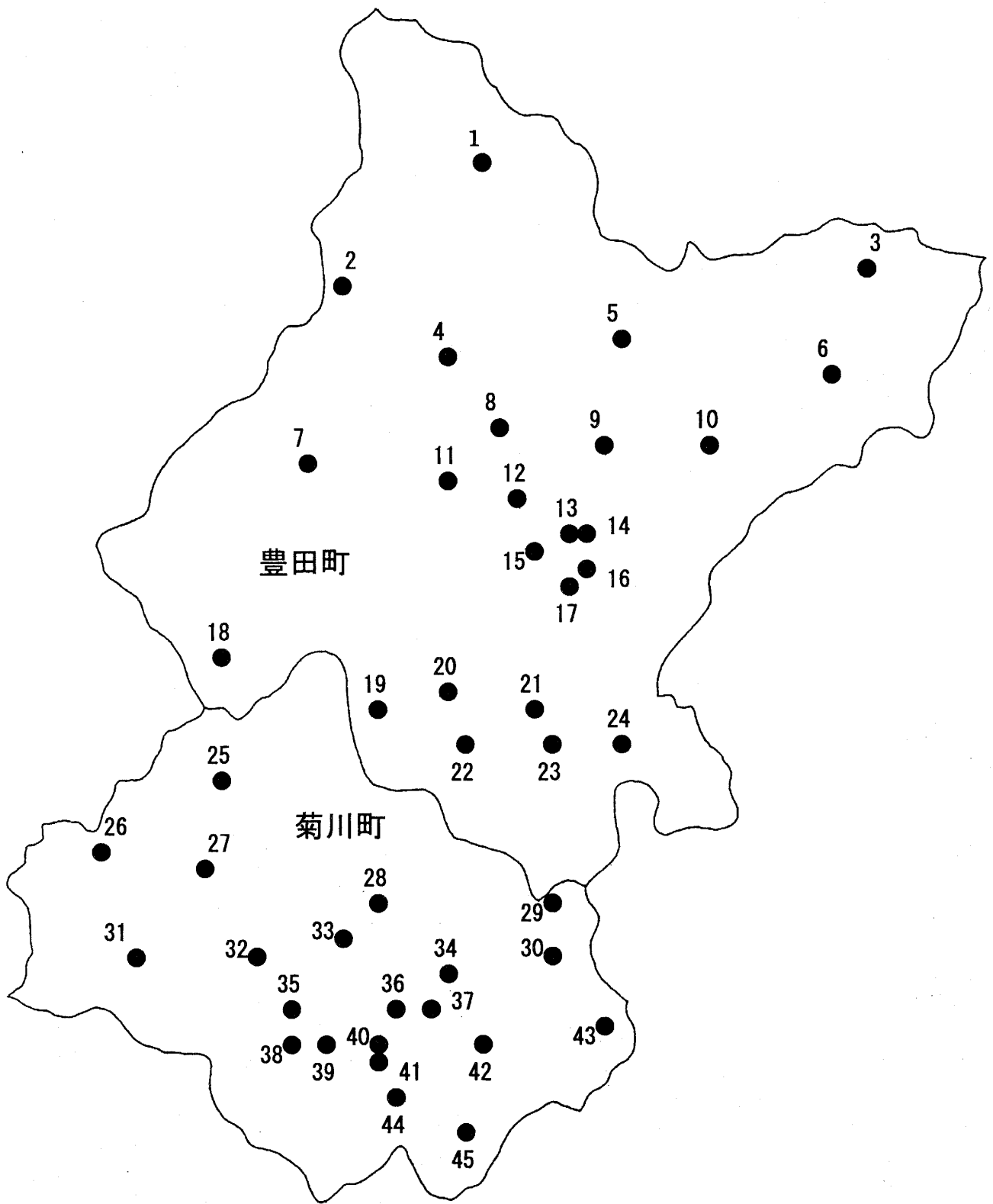


図1 神社の所在地 (番号は表3の神社番号を示す)

槇之尾神社、豊田神社、菊川町の七見八幡宮、袖掛神社、上田部八幡宮、大野神社など32の神社にはスギ・ヒノキ林があった。それでも25の神社では典型的な照葉樹林を観察できた。なかでも豊田町の亀尾山八幡宮はツブラジイ-サカキ群落、八鷹神社はツブラジイ-テイカズラ群落、菊川町の日瀬神社はツブラジイ-ヤブツバキ群落となっていた。亀尾山八幡宮は高木層がツブラジイ、ヒノキ、シラカシ、亜高木層がサカキ、クロキ、ヤブツバキ、ネズミモチ、ヒサカキ、タブノキ、ヤブニッケイ、シラカシ、カクレミノ、モチノキ、テイカズラなどで構成されている樹種の多い照葉樹林で独特の景観を持っていた(図2B)。さらに、八鷹神社の高木層はツブラジイ、タブノキ、シラカシ、モチノキ、亜高木層はヤブツバキ、モチノキ、シイモチ、ネズミモチ、カクレミノ、モッコク、草本層はテイカズラが優占しセンリョウ、マンリョウ、カラタチバナなどを含んだ下層の良く発達した照葉樹林となっていた。また、菊川町の日瀬神社は高木層がツブラジイ、タブノキで、ヤブツバキ、ヤブニッケイ、ヒメユズリハ、ヒサカキ、サカキ、トベラなどが混生した照葉樹林となっていた(図2C)。

その他、豊田町の赤崎神社ではヒノキ林の一部にツブラジイ、アラカシ、ウラジロガシが混じってはいるがツクバネガシの林を観察できた。また、豊田町の鎮守社にはツブラジイ、アラカシ、コナラ、ウラジロガシ、ツクバネガシの立派なシイ・カシ林で囲まれた参道があった(図2D)。

この地域には樹木がまったくない神社はなかったが、豊田町の河内社(空路子)、菊川町の八幡宮、龍王社、宮城神社、荒小田神社、宮地嶽神社(図2E)の5つの神社ではイチョウ、ヤブツバキ、カイズカイブキ、サクラ、サカキなどの樹木がわずかにあるだけの神社となっていた。

ドングリの種類

45の神社で合わせて3属11種のドングリを観察した。各神社のドングリの種類は表3に示してある。最も種類が多かったのは菊川町の吉賀八幡宮で、7種類のドングリがあった。また、豊田町の厳島神社、熊野神社、赤崎神社、鎮守社、河内神社跡、菊川町の櫻井八幡宮、大歳神社には5種類のドングリがあった。これに対して、ドングリが全くない神社も6社あったが樹木が全くない神社はなかった。1神社あたりのドングリの種の平均は2.8種類であった。

11種類中、常緑のドングリはアカガシ(*Q.acuta*)、アラカシ(*Q.glauca*)、イチイガシ(*Q.gilva*)、ウラジロガシ(*Q.salicina*)、シラカシ(*Q.myrsinaefolia*)、ツクバネガシ(*Q.sessilifolia*)、ツブラジイ(*Castanopsis cuspidata*)の2属7種類で、落葉性のドングリはクヌギ(*Q.acutissima*)、コナラ(*Q.serrata*)、ナラガシワ(*Q.aliena*)、クリ(*Castanea crenata*)、の2属4種類であった。

最も多かった種はアラカシで、45神社の80%にあたる36の神社にあった(表2)。これに次いで多かったのはツブラジイで34の神社に、3番目はシラカシで14の神社にあった。一方、ナラガシワ、クヌギ、イチイガシ、アカガシ、ツクバネガシなどの5種類は出現頻度が10%未満であった。しかし、ツクバネガシは豊田町の赤崎神社で、イチイガシは菊川町の吉賀八幡宮、室路八幡宮でそれぞれ群生していた。さらに、これまで非常に希にしか観察できなかったアカガシ、イチイガシは、それぞれ3カ所、4カ所で見ることができた。

この地域ではアラカシが最も多かったが、アラカシの優占する林はなく他の樹木と混生していた。2番目に出現頻度の高かったツブラジイの林は豊田町の亀尾山神社、八鷹神社、日幡神社、菊川町の日瀬神社、大歳神社、吉賀八幡宮など9つの神社で観察できた。しかし、同じシ

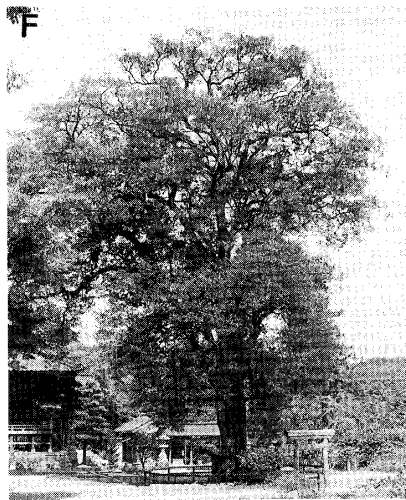
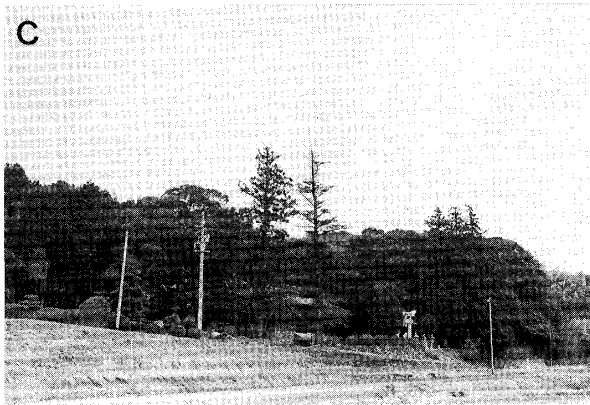


図2 神社と神社林

- A. 河内社
- B. 亀尾山八幡宮
- C. 日瀬神社
- D. 赤崎神社
- E. 宮地獄神社
- F. イチイガシ(西八幡宮)
- G. ツクバネガシ(巖島社)
- H. スギ(河内社)

イ属のスタジイは見られなかった。

この地域の神社には胸高直径が100cm以上の巨樹が多くあった。特にツブラジイの巨木が目立っていて、直径100cm以上の木が9本観察できた。最大の個体は亀尾山八幡宮の木で、樹高が25m、胸高直径は160cmもあった。これはツブラジイとしては県内で2番目に大きな個体である。イチイガシとツクバネガシにも直径100cm以上の巨樹が見られた。豊田町の西八幡宮のイチイガシは樹高が29.8m、胸高直径が150cmで樹勢は旺盛であった(図2F)。ツクバネガシは豊田町の巖島社の個体で樹高は25m、胸高直径は100cmあった(図2G)。

ドングリ以外では豊田町の河内社(道市)のスギ(胸高直径150cm)(図2H)、菊川町の櫻井八幡宮のタブノキ(胸高直径120cm)の巨木があった。この他にもイチョウ、クスノキなど胸高直径100cm以上の巨木が合計で8本見られた。また、豊田町の日幡神社のナギ(胸高直径70cm)は豊田町の天然記念物に指定されており県内でも9番目の大きさである。神社にあった大きな樹木については表1に示してある。

地域ごとのドングリの種類

今回調査した神社を、豊田町と菊川町に分け、ドングリの種類とそれぞれの出現数を表2に示してある。豊田町と菊川町には合わせて11種のドングリがあり、神社あたりの種類数の平均は豊田町3.2種、菊川町2.3種であった。豊田町はツブラジイ、アラカシの出現頻度がともに88%で、この2種が豊田町の神社林ドングリの優占種となっている。そして、ツブラジイの出現頻度88%はこれまで調べた他の地域と比べても、最も高い値である。菊川町ではアラカシが最も多く(出現頻度71%)、次にツブラジイ(出現頻度62%)が多かった。豊田町、菊川町とともに3番目に出現頻度の高い種類はシラカシ(豊田町33%、菊川町29%)であり、この地域に比較的多い種となっていた。また、菊川町のイチイガシの出現頻度14%で、これは山口のどの地域よりも高い値である。地域間の種類の差はナラガシワ(1カ所)の1種だけであった。しかし、種類別の出現頻度には差があり、ツブラジイは豊田町の21カ所(出現頻度88%)に対して菊川町は13カ所(出現頻度62%)、ウラジログシは豊田町の7カ所(出現頻度29%)に対して菊川町は1カ所(出現頻度5%)、コナラは豊田町の9カ所(出現頻度38%)に対して菊川町は2カ所(出現頻度10%)とかなり異なっていた。このように隣接した二つの地域間でもドングリの出現頻度には差があるのがわかった。

論 議

今回調査した45の神社を加えて、山口県内1005の神社で調査を終えたことになる。この地域で最も多かったのはアラカシ(出現頻度80%)で、2番目がツブラジイ(出現頻度76%)であった。これまでの研究でも、アラカシとシイが神社林で最もよくみられる種となっており、この地域でもそれが確認できた。そして、アラカシとツブラジイは山口県全域で普遍的に見られるドングリであることがより明確になってきた。特に、豊田町はその典型であり、ツブラジイ、アラカシの出現頻度がともに88%ときわめて高かった。また、ツブラジイは県内に広く分布している種であるが、これほど出現頻度が高いのは大和町(県東部、85%)だけであり、豊田町はそれを超えていた。菊川町においてもツブラジイの出現頻度は高く、ツブラジイの多さはこの地域の大きな特徴となっている。これに対して、もう1つのシイ属のスタジイはまったく観察されなかった。一般的に海岸部に近いほどスタジイが多くなり内陸部はツブラジイが多くなるとされているが、両町とも海に面していない山間部にあり、そのことが確かめ

表1 神社にあった大きな樹木

樹木の種類	所在地と大きさ
ツブラジイ	日幡神社 (100cm・15m、100cm・15m)、八鷹神社 (130cm・15m、100cm・15m) 亀尾山八幡宮 (160cm・25m、140cm・25m、130cm・25m、120cm・28m、100cm・25m)
イチイガシ	西八幡宮 (150cm・29.8m)
ツクバネガシ	巖島社 (100cm・25m)
イチョウ	河内社 (大河内) (110cm・34.5m)、巖島富士浅間神社 (100cm・28.5m)
クスノキ	日瀬神社 (100cm・23m)、白山宮 (100cm・32m)
タブノキ	櫻井八幡宮 (120cm・20m)
スギ	亀尾山神社 (130cm・30m、130cm・30m)、豊田神社 (110cm・32m) 河内社 (道市) (150cm・31m、100cm・27m)
ナギ	日幡神社 (70cm・12m)

() の数字は胸高直径と樹高を示す

表2 地域ごとのドングリの種類と出現数

ドングリの種類	ドングリの種類と神社数		
	豊田町 (24神社)	菊川町 (21神社)	合計 (45神社)
コナラ	9 (38)	2 (10)	11 (24)
ナラガシワ	1 (4)	0	1 (2)
クヌギ	1 (4)	1 (5)	2 (4)
アラカシ	21 (88)	15 (71)	36 (80)
アカガシ	1 (4)	2 (10)	3 (7)
イチイガシ	1 (4)	3 (14)	4 (9)
ウラジロガシ	7 (29)	1 (5)	8 (18)
シラカシ	8 (33)	6 (29)	14 (31)
ツクバネガシ	3 (13)	1 (5)	4 (9)
ツブラジイ	21 (88)	13 (62)	34 (76)
クリ	4 (17)	5 (24)	9 (20)

数字は出現数、() の数字は割合 (%)

られた。しかし、この地域に隣接する海岸部の豊北町、豊浦町、油谷町、日置町、長門市をあわせてもスダジイは3カ所（長門市に2カ所、油谷町に1カ所）しかなく、ツブラジイの方が多く観察されている。この地域を含む県北西部では海岸部や内陸部とは関係なくスダジイはほとんどなく、ツブラジイが優占しているといえる。また、海岸に近いほど多いとされているマテバシイやウバメガシもまったく見られなかった。

耐寒性があり内陸部に多いとされているウラジロガシは、豊田町の7カ所（出現頻度29%）で観察できたが、菊川町では1カ所（出現頻度5%）でしか観察できず、山間部であるこの地域内で差があり、必ずしも内陸部に多いとはいえない。これに対して、同じように寒冷な内陸部に多いとされているシラカシは、豊田町で8カ所（出現頻度32%）、菊川町で6カ所（出現頻度29%）で、この地域で3番目に多い種となっていた。隣接する海岸部の油谷町、豊北町、豊浦町のシラカシの出現頻度がそれぞれ0%、10%、0%であり、内陸部にはシラカシという傾向をよく示している。

イチイガシはこれまで調べた960の神社のうち17カ所（出現頻度2%）でしか観察されておらず極めて希な種である。しかし、今回調査した地域では4カ所（出現頻度9%）で観察できた。豊田町は西八幡宮だけでしか見られなかったが、その個体は胸高直径150cm、樹高29.8mの巨樹であった。菊川町では3カ所（出現頻度14%）で観察できた。これまで県内で観察された17カ所は11の地域（熊毛町、光市、徳地町、山口市、小郡町、田万川町、三隅町、秋芳町、美祢市、油谷町、豊北町）に散在しており、イチイガシはもともと県内に広く分布していたと考えられる。

アカガシもイチイガシに並んで山口県の神社林では非常に希な種であり、33カ所（出現頻度4%）でしかない。しかし、この地域では3カ所（出現頻度7%）で見られた。また、美祢市で3カ所（出現頻度6%）、油谷町で5カ所（出現頻度19%）、豊北町で2カ所（出現頻度7%）、豊浦町で1カ所（出現頻度4%）とこの地域を含めた県西部では多く観察されており、県西部にはアカガシが多いことを示唆している。

45の神社林の多くでスギ・ヒノキの植林も（32神社）みられたが、結果的には36の神社で合計11種のドングリを観察でき、神社あたりの種類数の平均も2.8と高く、イチイガシやアカガシといった希な種も比較的多く見ることができた。そして、この研究でも、はっきりとした地域性を確認できた。このことは神社林のドングリを調べることでその地域の自然植生を調べるのにとっても有効な方法であり、自然環境のよい指標であることを改めて示している。今後は残りの地域での詳細な研究が課題である。

謝 辞

この研究にあたり資料集めに協力して下さった三時和久氏に深く感謝致します。

表3 神社とドングリの種類

番号	神社名	所在地	ドングリの種類
1	日幡神社	豊田町一ノ俣	ツブラジイ、アラカシ、シラカシ、ウラジログシ
2	巖島社	〃 殿居	ツブラジイ、アラカシ、シラカシ、ウラジログシ、ツクバネガシ
3	熊野神社	〃 今出	ツブラジイ、アラカシ、シラカシ、コナラ、クリ
4	亀尾山八幡宮	〃 浮石	ツブラジイ、シラカシ
5	河内社	〃 稲見	ツブラジイ、アラカシ、シラカシ、クリ
6	河内社	〃 今出	ツブラジイ、アラカシ
7	三嶋神社	〃 柰路子	ツブラジイ、アラカシ
8	槇之尾神社	〃 金道	ツブラジイ、アラカシ、シラカシ
9	豊前坊跡	〃 稲見	ツブラジイ、アラカシ、シラカシ、コナラ
10	河内社	〃 大河内	ツブラジイ、アラカシ
11	八鷹神社	〃 八道	ツブラジイ、アラカシ、ウラジログシ
12	赤崎神社	〃 八道	ツブラジイ、アラカシ、ウラジログシ、コナラ、ツクバネガシ
13	諏訪神社跡	〃 檜原	ツブラジイ、アラカシ、コナラ、クリ
14	祇園神社	〃 檜原	ツブラジイ、アラカシ、コナラ、クリ
15	西八幡宮	〃 矢田	ツブラジイ、アラカシ、コナラ、イチイガシ
16	殿敷社*	〃 西市	ツブラジイ、アラカシ
17	東八幡宮	〃 殿敷	ツブラジイ、アラカシ、コナラ
18	河内社	〃 柰路子	
19	中宮	〃 江良	アカガシ
20	豊田神社	〃 西市	ツブラジイ、アラカシ、ウラジログシ
21	猿田彦大明神跡*	〃 西市	ツブラジイ、アラカシ、コナラ、ナラガシワ
22	氏神畷跡*	〃 西市	アラカシ
23	鎮守社	〃 西市	ツブラジイ、アラカシ、コナラ、ウラジログシ、ツクバネガシ
24	河内神社跡	〃 西市	ツブラジイ、アラカシ、シラカシ、ウラジログシ、クヌギ
25	貴船神社	菊川町貴飯	ツブラジイ、アラカシ、クリ
26	日瀬神社	〃 久野	ツブラジイ、アラカシ
27	美栄神社	〃 貴飯	アラカシ、イチイガシ
28	櫻井八幡宮	〃 上岡枝	ツブラジイ、アラカシ、アカガシ、シラカシ、コナラ
29	河内神社	〃 樅の木	ツブラジイ、アラカシ、シラカシ、クリ
30	河内社	〃 道市	ツブラジイ、アラカシ
31	室路八幡宮	〃 日新	ツブラジイ、アラカシ、イチイガシ
32	大歳神社	〃 檜崎	ツブラジイ、アラカシ、アカガシ、シラカシ、ツクバネガシ
33	吉賀八幡宮	〃 上岡枝	ツブラジイ、アラカシ、シラカシ、ウラジログシ、イチイガシ、クヌギ、クリ
34	袖掛神社	〃 上保木	アラカシ
35	八幡宮	〃 吉賀	
36	荒小田神社*	〃 下岡枝	
37	宮地嶽神社	〃 田部	
38	龍王社	〃 七見	
39	七見八幡宮	〃 七見	
40	宮城神社	〃 上田部	アラカシ
41	上田部八幡宮	〃 上田部	ツブラジイ、シラカシ
42	白山神社	〃 下保木	ツブラジイ、アラカシ
43	巖島富士浅間神社	〃 上轡井	ツブラジイ、アラカシ、シラカシ、コナラ
44	白山宮	〃 上田部	ツブラジイ、アラカシ、クリ
45	大野神社	〃 下大野	ツブラジイ、アラカシ、クリ

*は神社名が不明で仮称

引用文献

- 阿部弘和 (1985) : ドングリの分類と観察、遺伝39巻9号、66-71
- 阿部弘和・森田和則 (1989) : 山口県のドングリ (2) 阿武郡、萩市の神社林のドングリ 山口大学教育学部研究論叢、39巻 (第2部)、13-27
- 阿部弘和・郡司浩史 (1991) : 山口県のドングリ (3) 防府市、徳地町、鹿野町の神社林のドングリ 山口大学教育学部研究論叢、41巻 (第2部)、23-36
- 阿部弘和・臼井直希 (1994) : 山口県のドングリ (4) 宇部市、楠木町、美東町の神社林のドングリ 山口県教育学部研究論叢、44巻 (第2部)、1-12
- 阿部弘和・臼井直希 (1994) : 山口県のドングリ (5) 秋芳町、三隅町、長門市の神社林のドングリ 山口県教育学部研究論叢、45巻 (第2部)、19-30
- 阿部弘和・岡原恵子 (1997) : 山口県のドングリ (7) 大島郡の神社林のドングリ 山口県教育学部研究論叢、47巻 (第2部)、13-25
- 阿部弘和・岡原恵子 (1998) : 山口県のドングリ (8) 熊毛郡、柳井市、大島町の神社林のドングリ 山口県教育学部研究論叢、48巻 (第2部)、11-24
- 阿部弘和・原田憲幸 (1999) : 山口県のドングリ (9) 下松市、熊毛町、光市の神社林のドングリ 山口県教育学部研究論叢、49巻 (第2部)、1-11
- 阿部弘和・原田憲幸 (2000) : 山口県のドングリ (10) 徳山市、新南陽市の神社林のドングリ 山口県教育学部研究論叢、50巻 (第2部)、21-30
- 阿部弘和・小路 聡 (2001) : 山口県のドングリ (11) 小野田市、山陽町、美祢市の神社林のドングリ 山口大学教育学部研究論叢、51巻 (第2部)、45-58
- 阿部弘和・松富憲之 (2002) : 山口県のドングリ (12) 油谷町、日置町の神社林のドングリ 山口大学教育学部研究論叢、52巻 (第2部)、13-27
- 岩田利治 (1965) : 図説樹木学-広葉常緑樹編一、朝倉書店 (東京)
- 岡 国夫ほか (1972) : 山口県植物誌、山口県植物誌刊行会 (山口)
- 岡 国夫 (2000) : 山口県の巨樹資料 植物調査の歩み、山口県植物研究会 (山口)
- 吉良竜夫 (1976) : 自然保護の思想、人文書院 (東京)
- 北村四郎・村田 源 (1979) : 原色日本植物図鑑木本編、保育社 (東京)
- 社寺林調査研究委員会 (1985) : 山口県の社寺林、社寺林調査研究委員会 (山口)
- 花岡隆義・阿部弘和 (1986) : 山口県のドングリ (1) 山口市の神社林のドングリ 山口大学教育学部研究論叢、36巻 (第2部)、27-36
- 原靖治・阿部弘和 (1985) : 野外学習の進め方: ドングリの分類と観察 山口大学教育学部研究論叢、35巻 (第3部)、59-80
- 西村淳・阿部弘和 (1996) : 山口県のドングリ (6) 由宇町、岩国市、和木町のドングリ 山口大学教育学部研究論叢、46巻 (第2部)、19-28
- 松富憲之・阿部弘和 (2003) : 山口県のドングリ (13) 豊北町、豊浦町の神社林のドングリ 山口大学教育学部研究論叢、53巻 (第2部)、1-13
- 矢頭献一・岩田利治 (1966) : 図説樹木学-落葉広葉樹編一、朝倉書店 (東京)
- 山口県野外植物研究委員会 (1993) : 山口県の社寺林、山口県野外植物研究委員会 (山口)